

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<48週> 感染性胃腸炎、水痘 - 定点当たり報告数は9週連続で増加しており、今後年末のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<感染性胃腸炎> 第48週の全国定点からの報告総数は30,553、平均の定点当たり報告数は10.12となっている  
<腸管出血性大腸菌感染症> 発生状況グラフ



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - 感染性胃腸炎 / Vero毒素産生性大腸菌 - 2001年まとめ



速報  
P.6-7

ラテックス凝集試験によるレプトスピラ抗体検査に関する注意の呼びかけ / 国内での赤痢の多発について



海外感染症情報  
P.8

ガボンでウイルス性出血熱疑い患者発生 / ソマリアで髄膜炎菌感染症流行 / 他



感染症の話  
P.9-12

エキノコックス症  
エキノコックス属条虫の幼虫(包虫)に起因する疾患で、人体各臓器特に肝臓、肺臓、腎臓、脳などで包虫が発育し、諸症状を引き起す



読者のコーナー  
P.13



グラフ総覧(48週)  
P.14-20



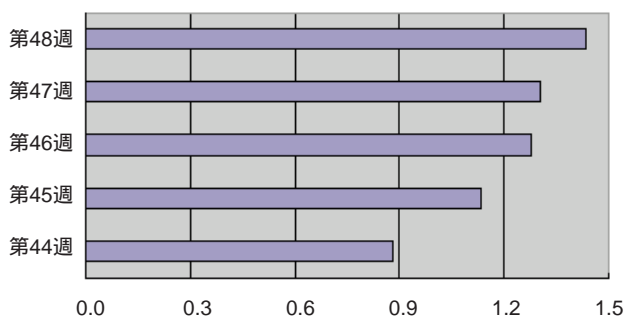
48週のデータ  
P.21-28



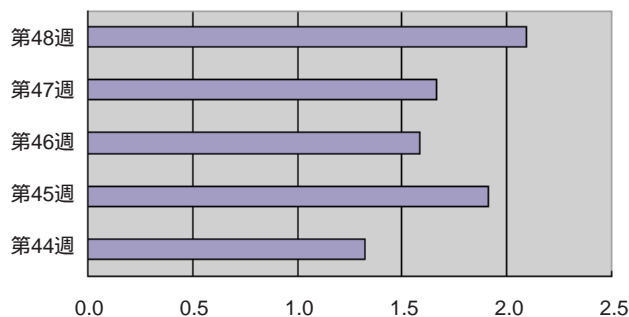
## 最近の注目疾患－5週間の動き

感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数は9週連続で増加しており、今後年末のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も前週より定点当たり報告数が増加し、ここ5週では全体として増加傾向にある。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より増加した。基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は前週より増加し、昨年、一昨年に比べると定点当たり報告数の多い状態が続いている。

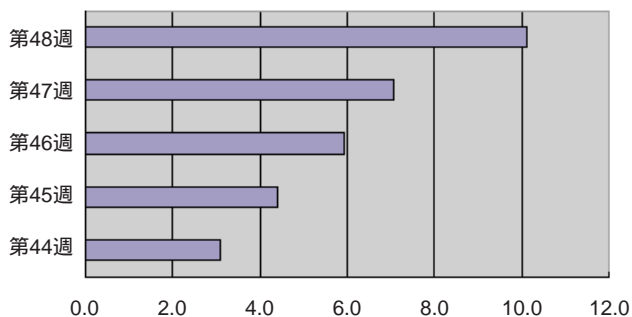
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



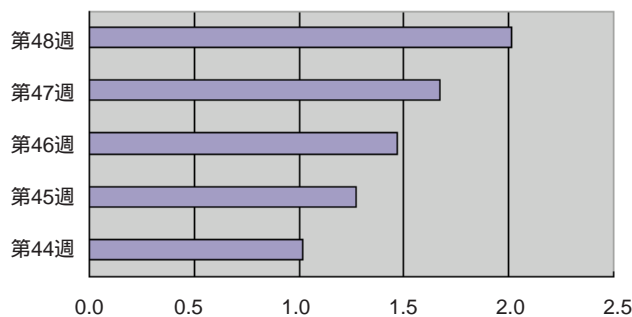
流行性耳下腺炎



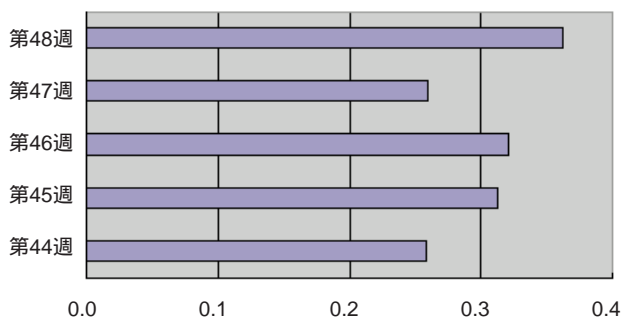
感染性胃腸炎



水痘



マイコプラズマ肺炎



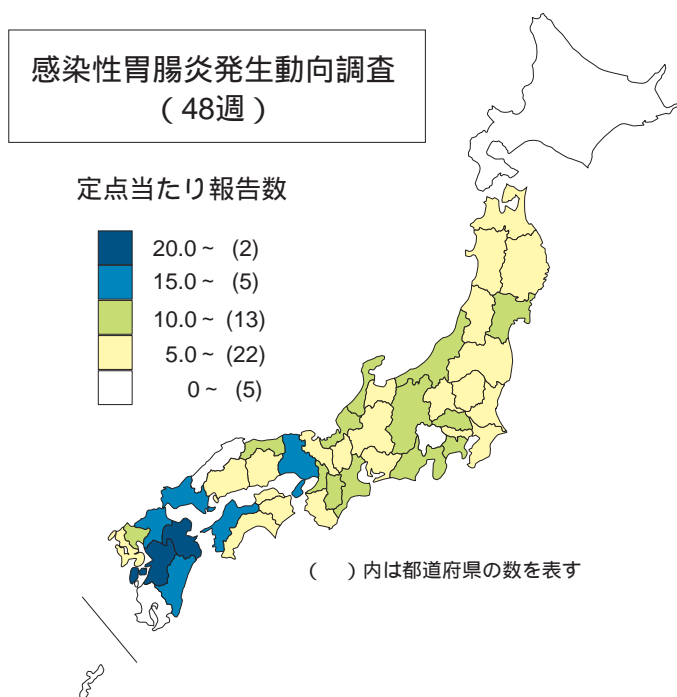
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

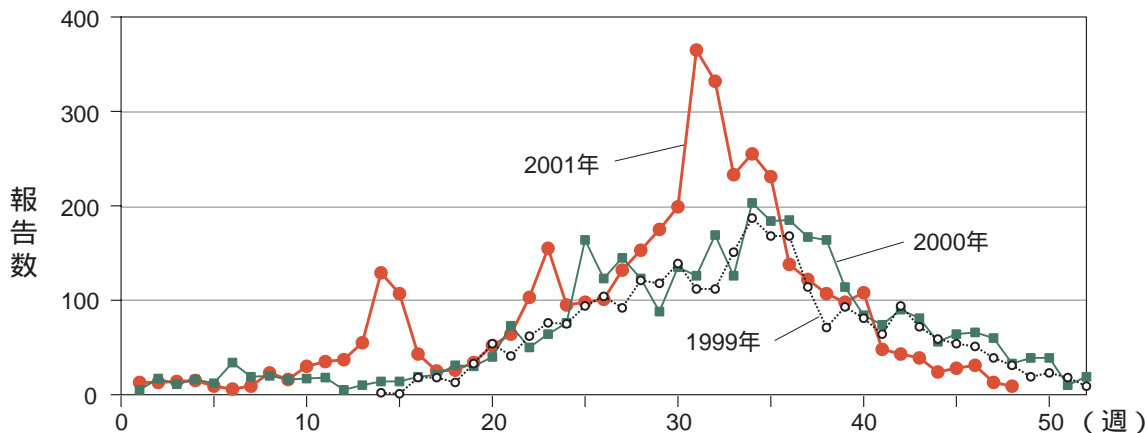
## 感染性胃腸炎流行状況

今シーズンの感染性胃腸炎は第39週より患者報告数が徐々に増加し始め、第45週、46週、47週、48週と急増しており、過去10年間で最大の流行であった1999年の流行曲線に沿って、定点当たり報告数の増加がみられている(15ページ感染性胃腸炎グラフ参照)。第48週の全国定点からの報告総数は30,553、平均の定点当たり報告数は10.12となっている。定点当たり報告数が多くなっている都道府県は熊本県(23.1)、大分県(22.1)、福岡県(19.2)、山口県(18.6)、宮崎県(17.4)、愛媛県(16.2)、兵庫県(15.1)などである。病原体検出情報事務局にはすでに、SRSVおよびロタウイルスの検出情報が寄せられている(ウイルスの検出情報については5ページ参照)。



## 腸管出血性大腸菌感染症流行状況

腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)発生状況





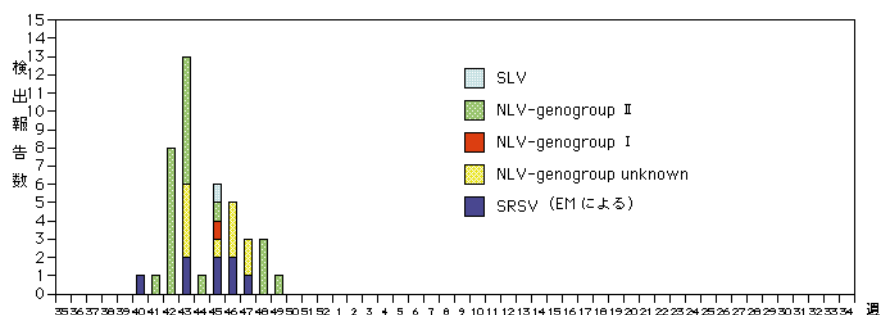
# 病原体情報

\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
(2001年12月7日現在報告分)

## 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSV検出として、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが22件(うち4件は、第48～49週にかけて岩手県における幼稚園での集団発生)、NLV genogroup Iが1件(石川県)、NLV genogroup unknownが10件(新潟県6、秋田県4)、サッポロ様ウイルス(SLV)1件(岩手県)、電顕による検出6件(北九州市4、愛媛県1、栃木県1)が報告されている。また、A群ロタウイルスの検出が第41、44週に東京都から各1件報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン (病原微生物検出情報: 2001年12月7日現在報告数)



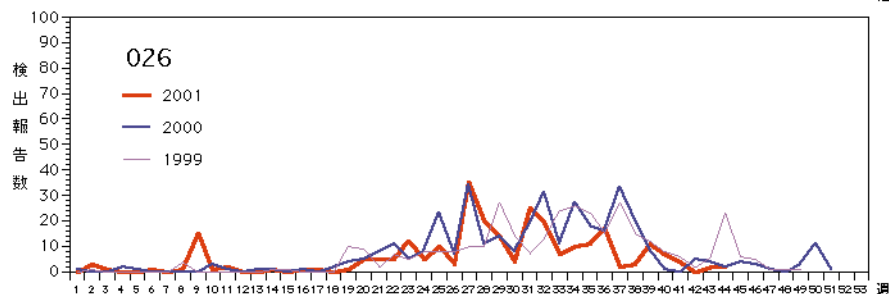
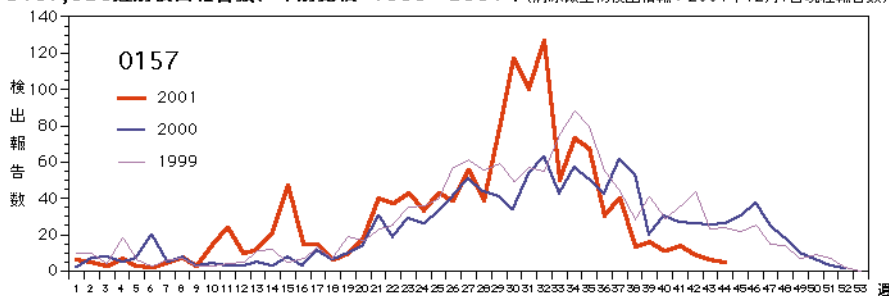
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



## ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年まとめ

2001年のVero毒素産生性大腸菌の検出報告をまとめると、O157が51都道府県市から1,321件、O26が31都道府県市から266件報告された。本年のO157は、第14～16週にかけて集団発生により一時的に報告が増加した後、第30～32週に昨年を大きく上回るピークを示した。第37週までの累積で昨年1年間の報告数(1,216件)を上回ったが、第38週以降目立って減少している。一方、O26は第9週に集団発生による小さなピークがみられた後、夏～秋は昨年、一昨年と同様の推移を示している。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 1999～2001年(病原微生物検出情報: 2001年12月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





## ラテックス凝集試験によるレプトスピラ抗体検査に関する 注意の呼びかけ

レプトスピラ感染症は、東南アジアをはじめとする多くの地域で依然として流行を繰り返しており、海外渡航をする日本人での罹患が認められる。また、我が国に生息する野生のネズミがレプトスピラを保菌しているとの報告もあり、注意を要する疾患である。それ故、診断にも正確性を要するので、検査法につき注意を促したい。

昨年4月より本年11月末日までに、民間検査所においてレプトスピラに対する抗体が陽性と判定された検体について、国立感染症研究所細菌部で医療機関からの要請で再試験を行った結果、陰性となった事例が6件起きている。これら6件のうち5件は、死菌レプトスピラ抗原を用いたラテックス凝集試験(RPLA)を行っていた(1件は不明)。これに対し感染研細菌部では、抗体価測定をレプトスピラ生菌を用いた顕微鏡下凝集試験(MAT)で行っている。MATはレプトスピラの血清型特異的な試験であるが、生菌を使うこと、またその操作に習熟を要することから民間では行われてなく、国内で検査できる機関は限られている。またこの6件のなかには、ハムスターからの感染が疑われるとされた症例も含まれている(小児感染症学会;抄録D10, p.1259)。その症例においては、RPLA法で入院時の患者血清(1点だけを用いていた)が、*Leptospira autumnalis*, *L. icterohaemorrhagiae*のレプトスピラ死菌抗原に対してそれぞれ40、80倍の抗体価を示したとされた。この民間検査所で陽性と判定された血清型について、感染研で再度ペア血清を用いて検査を行った結果、抗体価の上昇がないことを確認している。

また、上述の例とは逆に、RPLA法で偽陰性を示した1例もあった。その検体は使用した全ての抗原に弱い凝集が見られたが、判定基準では陰性とされた。感染研で再試験を行ったところ、一つの血清型に160倍以上で凝集が認められ、確定診断がついた。

このようにRPLAキットの特異性に疑問が生じたことから、現在新しいキットの開発も含めて、キット製造所と感染研で協議を開始したところである。当面の注意事項として、民間検査所におけるレプトスピラ抗体検査では、必ずペア血清を用いて抗体価が4倍以上上昇していることを確認することが重要である。また、ペア血清で上昇が見られた場合でも、可能なかぎり先う一点その後の血清で検査を行い、抗体価が持続していることを確認することが望ましい。

参考資料; 感染研ホームページ; IDWR感染症の話[レプトスピラ症]:

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

国立感染症研究所細菌部

小泉信夫 渡辺治雄

(IASR2002年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 国内での赤痢の多発について

最近、主に関東甲信越以西で広域にわたり、ソネ赤痢菌による赤痢の事例が多発している。

本年11月より12月12日18:00現在において、国内での赤痢は117例把握されており、中には大阪市で11月19日～12月7日にみられた42例の発生も含まれている。特筆すべきは、117例中64例にカキの喫食歴が認められることである。

( 国立感染症研究所感染症情報センター )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### ガボンでウイルス性出血熱疑い患者発生

WHO/CSR 2001年12月5日

12月4日WHOは、ガボン北東部のOgooue Ivindo地域でウイルス性出血熱が疑われる流行が発生し、7例が死亡したとの報告を受け取った。軍の医療関係者や、WHO地域流行対策チーム(sub-Regional Epidemic Response Team)に支援されたガボン保健省、およびフランスビルのメディカルリサーチ国際センターのチームなどが、予備的な実地調査のためにOgooue Ivindo地域に向かっている。

### ソマリアで髄膜炎菌感染症流行

WHO/CSR 2001年12月7日

2001年10月13日以来、ソマリアのHargersa town(推定人口30～40万人)で死亡6例を含む49例の髄膜炎菌感染患者がWHOに報告された。A群髄膜炎菌が検査で確認された。流行を制圧するために次の対策が行われた。それは、19カ所の医療施設でのサーベイランスの実施、サーベイランスや患者の治療ガイドラインの配布、および地域対策委員会の編成である。地域保健当局、WHO、UNICEFやこの地域のNGO(非政府組織)が状況を監視している。

### ナイジェリアのコレラ更新

WHO/CSR 2001年12月3日

2001年11月26日までにWHOは、Kano州のKano Metropolisで80例の死亡を含む2,050例のコレラ患者を報告した。WHOは流行を制圧するために、州保健局に協力している。コレラ対策用キャンプが設置され、また機動部隊が、接触者追跡調査のためや家屋や他の場所の消毒、衛生教育の提供のため組織された。WHOはまた、コレラ用診断キットを提供してきた。

Jigawa州でも120名のコレラ患者が報告された。WHOはこの流行を調査するために、連邦保健局およびKano州の対策チームに協力している。





# 感染症の話

## エキノコックス症

エキノコックス属条虫の幼虫(包虫)に起因する疾患で、人体各臓器特に肝臓、肺臓、腎臓、脳などで包虫が発育し、諸症状を引き起す。ヒトには、成虫に感染しているキツネ、イヌなどの糞便内の虫卵を経口摂取することで感染する。わが国のエキノコックス症には、その原因寄生虫種により単包性エキノコックス症(単包条虫)と多包性エキノコックス症(多包条虫)がある。近年、多包性エキノコックス症が、北海道東部から北海道全域へと伝播域を拡大しつつあり、国民の健康に脅威を与える感染症となっている。そのために感染症法では、エキノコックス症を4類感染症全数把握疾患に指定し、全患者発生例の報告を義務付けている。

### 疫学

現在問題となっている多包性エキノコックス症の病原である多包条虫は、もともと北海道に分布していたのではなく、20世紀になってからのヒトとモノの盛んな交(流)通を背景として、北方諸島から侵入してきたものであると考えられている。最初の流行は、毛皮と野ねずみ駆除とを目的として移入されたキツネに多包条虫感染個体がいたことから、礼文島で発生した。1937年から1965年までの間に、島民約8,200のうち患者数114名を記録したが、1950年代以後の徹底した対策によりこの流行は終焉した。一方、1965年の患者発見から始まる根室・釧路を含む北海道東部地方での流行は、北方諸島を中部千島まで人為的に移動させられたキツネが流氷を介して北海道に侵入し、その中に感染キツネが含まれていた事に端を発していると推定される。この流行は1997年までに累計患者数146名を数え、現在でも毎年数名の新しい患者が見出されている。また、礼文、根室・釧路地方を除く北海道の東北、中央、西部地域にあつては、1965年から1988年の間に30名の患者が発見されていたが、1989年から1997年までの間に66名もの新患者の発生を見て

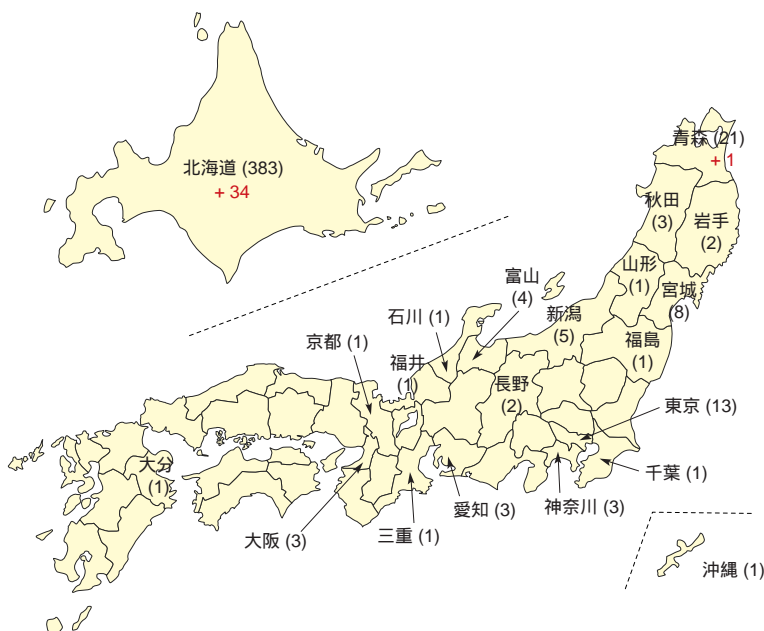


図1. 多包性エキノコックス症患者の地域分布  
赤数字は感染症法下での届け出数(2001年11月現在)

おり、特に中央部・西部地方で新たな流行のフォーカスを築きつつある事が示唆されている。1998年までに北海道エキノコックス症協議会で認定された患者数は累計で383名であった。

多包性エキノコックス症の北海道以外での患者発生数は、図1に示すように現在までの累計で77名である。そのうち51名については、北海道かシベリア・満州など国外での感染であると推定され、その他は感染ルートが不明である。北海道に隣接する青森県での患者数は22名であるが、そのうち9名が居住地での感染以外に説明が困難な例と見られている。最近、青森県のブタ3頭の肝臓から多包虫病巣が発見された事により、青森県への本症の伝播が疑われ、家畜および野生動物を対象に検査が行われているが、新たな感染動物は現在まで発見されていない。また、2001年8月に青森県で届け出のあった1例に関しては、北海道東部からの移住者であることが確認されている。

1999年4月からの感染症法の下で届け出られたエキノコックス症は、全国で40例である(2001年11月30日現在)。年度別では1999年4～12月が7例、2000年1～12月が22例、2001年1～11月が11例であった。病原別内訳では多包条虫が35例(北海道からの届け出34例、他県1例)、単包条虫が5例(北海道からの届け出3例、他県2例)となっている。なお、届け出都道府県は必ずしも感染した都道府県を意味しない。

単包性エキノコックス症については、1881年に熊本で日本最初の症例が報告されて以来、現在までの症例総数は70数例に止まっている。その三分の一は国外での感染が示唆され、国内感染が疑われる患者の分布地域は主として、九州、四国、近畿などの西日本であった。感染症法下での本州の届け出2例は、それぞれアルゼンチン、旧満州での感染と推定されている。

### 病原体

図2で示すように、エキノコックス症は虫卵を経口摂取することでのみ感染する。

多包条虫は、自然界ではキツネ、イヌを終宿主(成虫が寄生)とし、中間宿主(幼虫が寄生)を野ネズミとして生活環が維持されている。この生活環で、ヒトやブタは中間宿主にだけなりうる。したがってヒトからヒトへの感染、あるいは、例えば多包虫寄生のブタ肉の摂食を介してヒトに感染することはない。ヒトが虫卵を口から摂取すると幼虫が虫卵から出て腸壁に侵入し、血流あるいはリンパ流に乗って身体各所に運ばれて定着・増殖する。

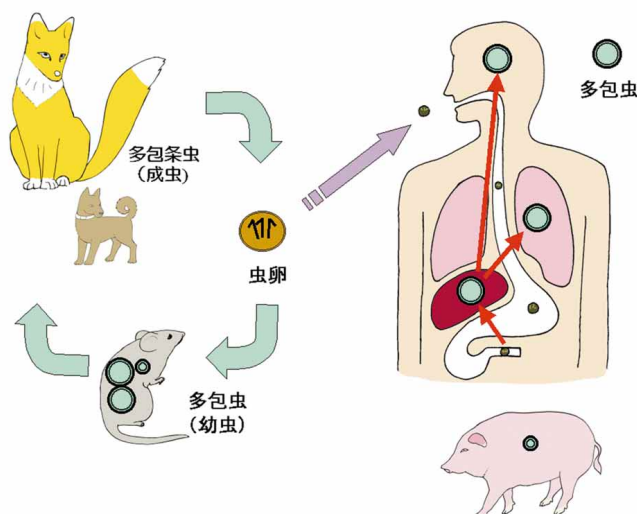


図2. 多包性エキノコックス症の感染経路

### 臨床症状

本症の感染初期( 約10年以内 )は、無症状で経過することが多い。

単包性エキノコックス症では、孤立性の嚢胞がゆっくりと増大して肝腫大や腹痛を認め、周囲の諸臓器を圧迫し、胆道閉塞や胆管炎を併発したり、ときに破裂する。

多包性エキノコックス症では、約98%が肝に一次的に病巣を形成する。肝に生着した微小嚢胞が外生出芽によってサボテン状に連続した充実性腫瘤を形成し、進行すると肝腫大、腹痛、黄疸、肝機能障害などが現れる。さらに進行すると胆道、脈管などの他臓器に浸潤し、閉塞性黄疸、病巣の中心壊死、病巣感染をきたして重篤となる。末期には腹水や下肢の浮腫が出現する。肝肺癭をきたすと胆汁の喀出、咳嗽が認められ、脳転移をきたすと意識障害、けいれん発作などを呈する。

### 病原診断

上のような臨床症状をもつ患者について、画像検査( 超音波、CTなど )により病巣部の所見が得られたとき、または上記の患者で免疫血清学的検査( ELISA法、Western Blot法等 )により陽性となったとき、本症と診断される。あるいは、臨床症状がないまま免疫血清学的検査により陽性となった場合には、継続観察の必要がある。流行地での居住歴、キツネ、イヌなどとの接触の有無は重要な参考となる。確定的な診断は、手術材料から包虫を検出することによる。生検は病巣の腹腔内や穿刺創への播種、定着をきたすので、他の肝腫瘍性病変との鑑別上必要な場合を除き、原則として行わない。

1998年までの北海道エキノコックス症協議会同判定委員会では患者認定を、臨床所見、居住歴、病巣の画像所見、免疫血清検査を参考として最終的には病理組織所見により行っていた。1999年4月からの感染症発生動向調査での届け出例を診断根拠別に解析すると、組織検査( 病原体 )と血清検査( 抗体 )の両方あるのが10例( 25.0% )、組織検査はあるが血清検査がないのが7例( 17.5% )、血清検査はあるが組織検査がないのが19例( 47.5% )、組織検査、血清検査のどちらもないが4例( 10.0% )であった( 当研究所感染症情報センターによる )。報告に関しては組織検査あるいは血清検査が前提とされるので、疑い症例については、確定診断に関して北海道立衛生研究所または当研究所寄生動物部などに御相談頂きたい。

### 治療・予防

外科的切除が唯一の根治的治療法であり、早期診断された時の予後は良好であるが、進行病巣の完全切除は困難なことがある。したがって、なによりも予防に重点が置かれなければならない。個人のレベルでの予防は、感染源となるキツネやイヌなどの保虫宿主に接触しないようし、虫卵に汚染されている可能性のある飲食物の摂取を避けることである。

公衆衛生上では媒介動物対策、上水道対策が基本となる。

### 感染症法での取り扱い

エキノコックス症は4類感染症全数把握疾患に分類される。診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。届け出のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例、患者から包虫の嚢胞、嚢胞壁の一部、原頭節及び鉤などが検出された場合など

- ・病原体に対する抗体の検出

例、ELISA法及びWestern Blot法など

( 国立感染症研究所寄生動物部 川中正憲 )



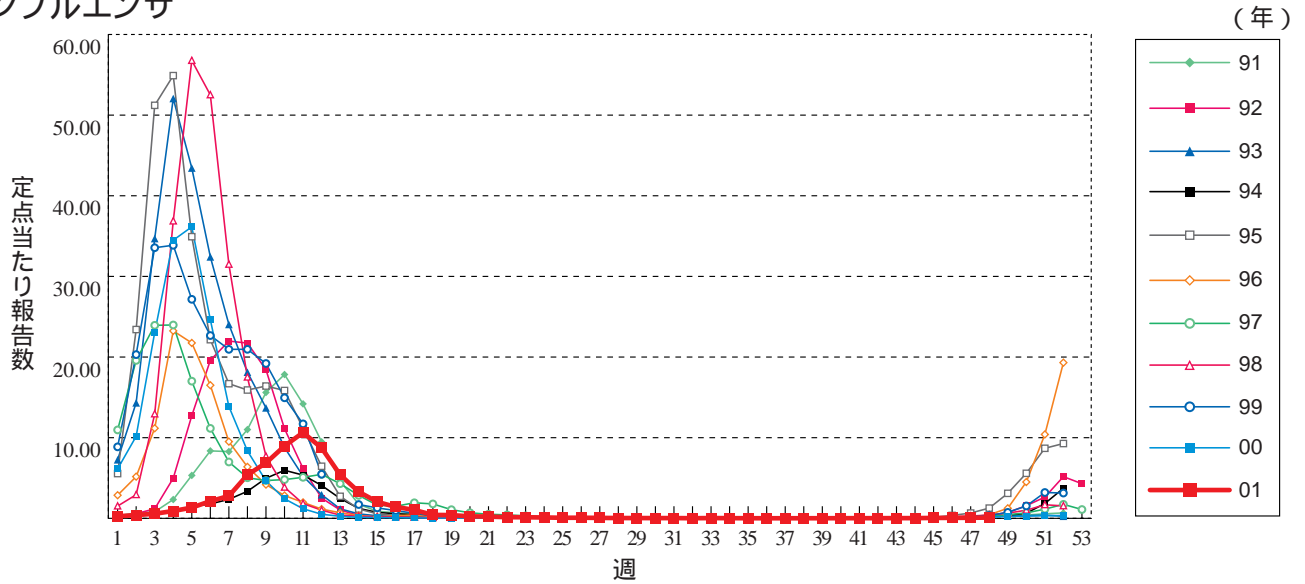
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

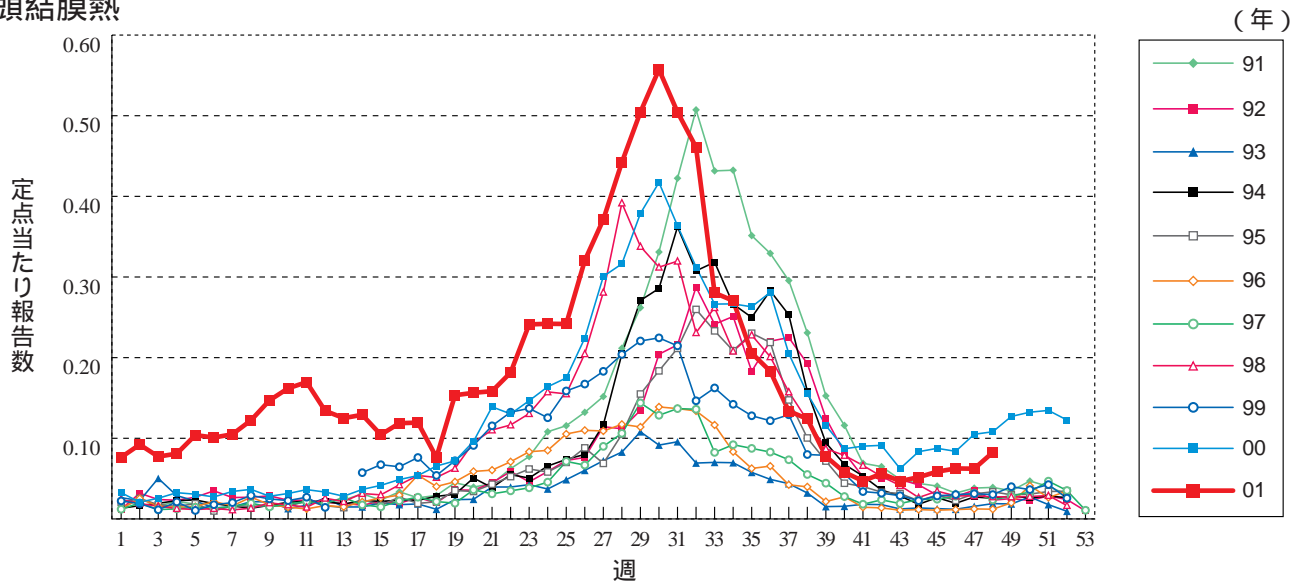
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(48週)**

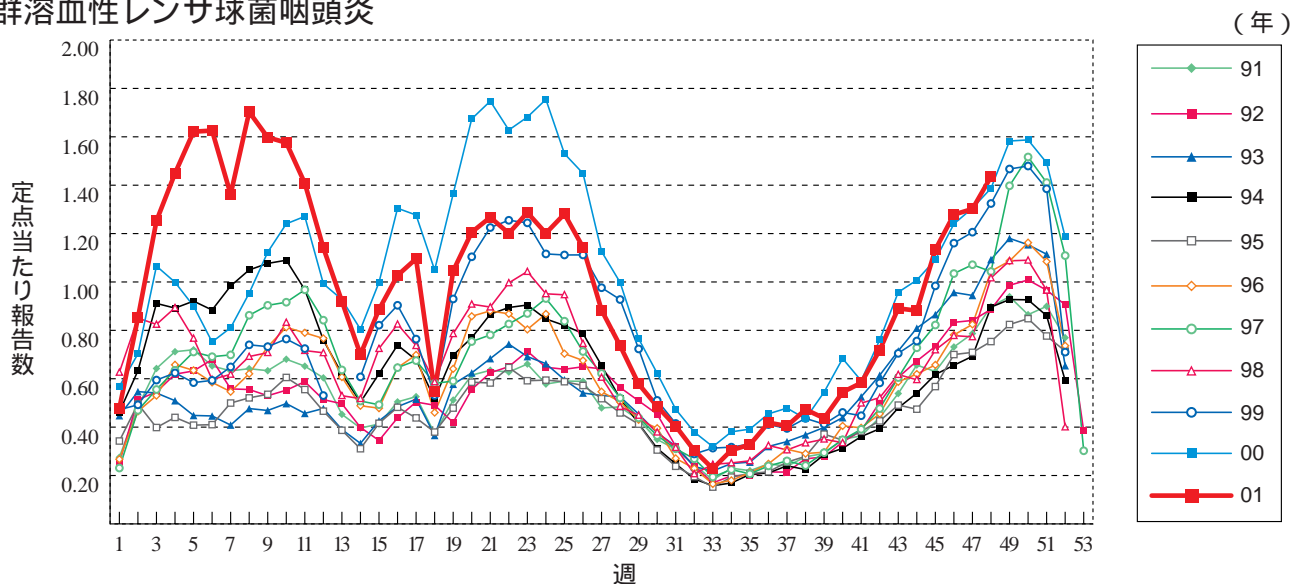
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

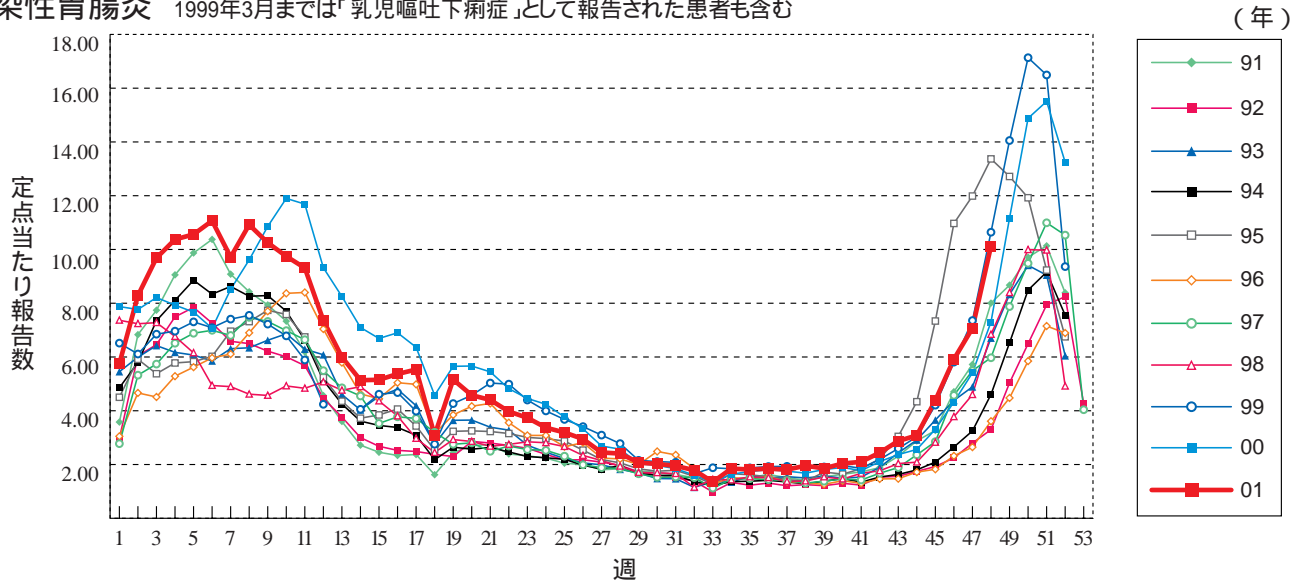


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

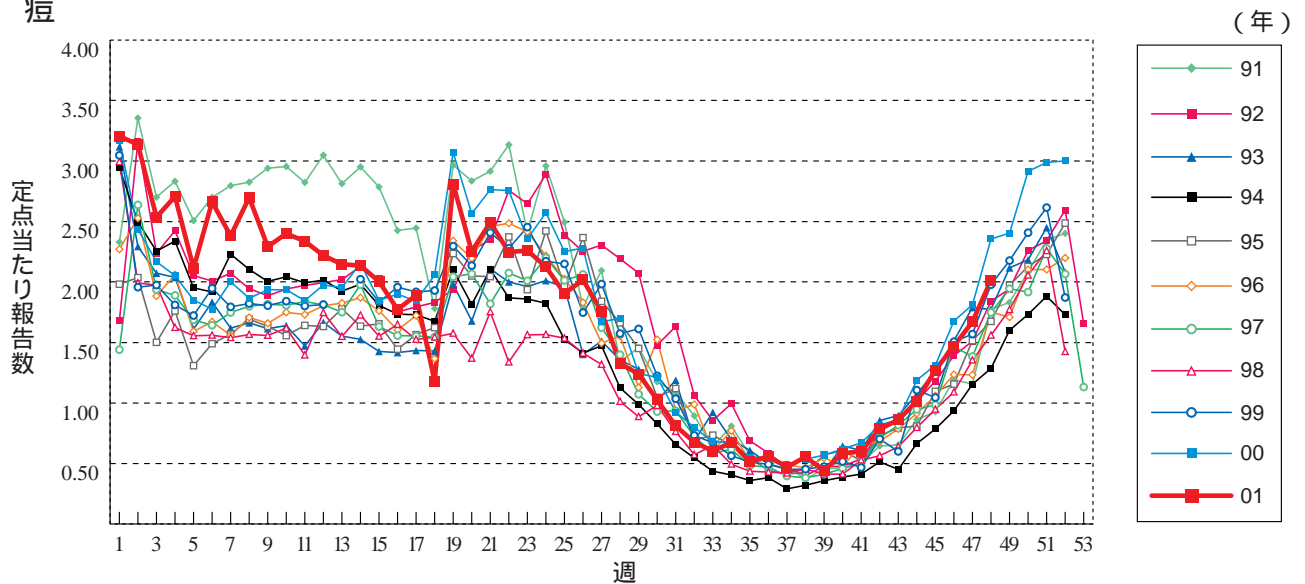




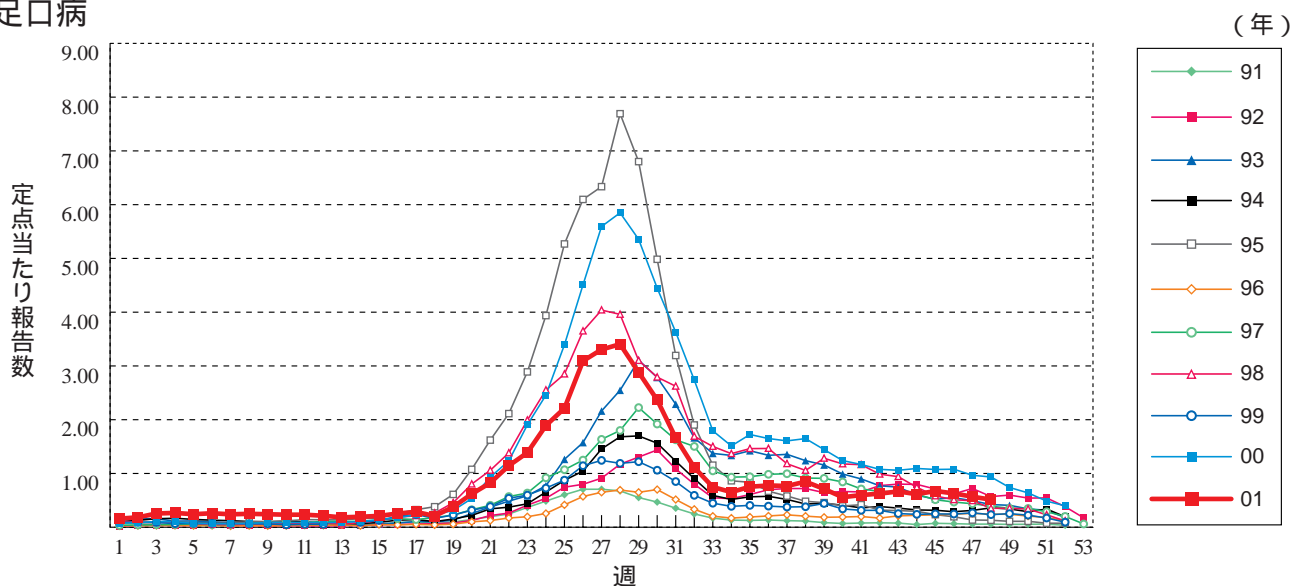
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



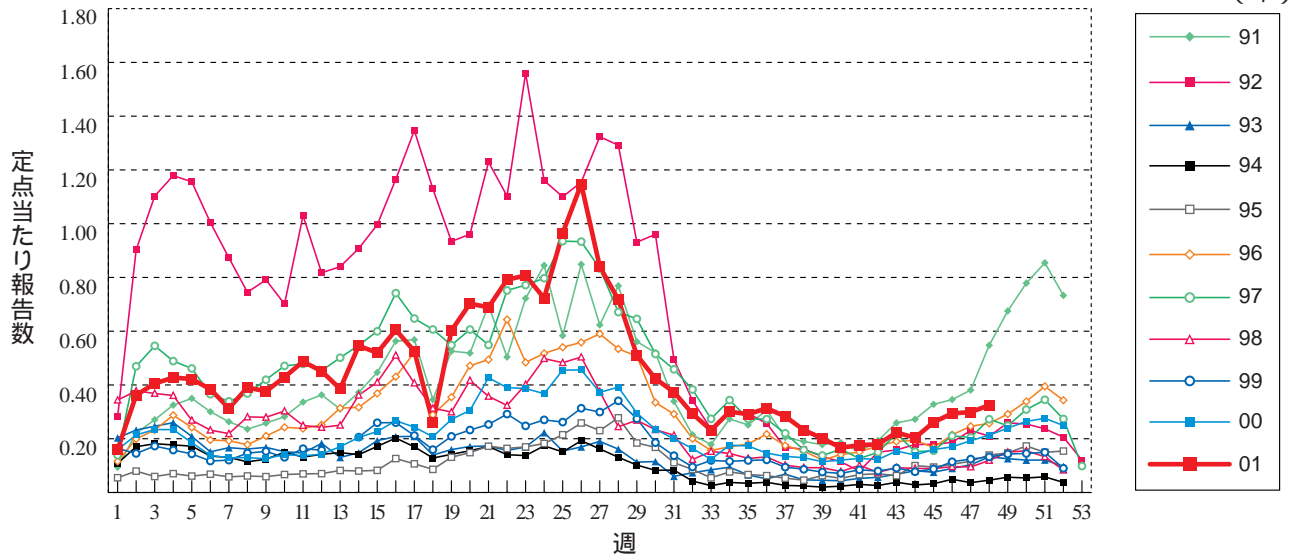
**水痘**



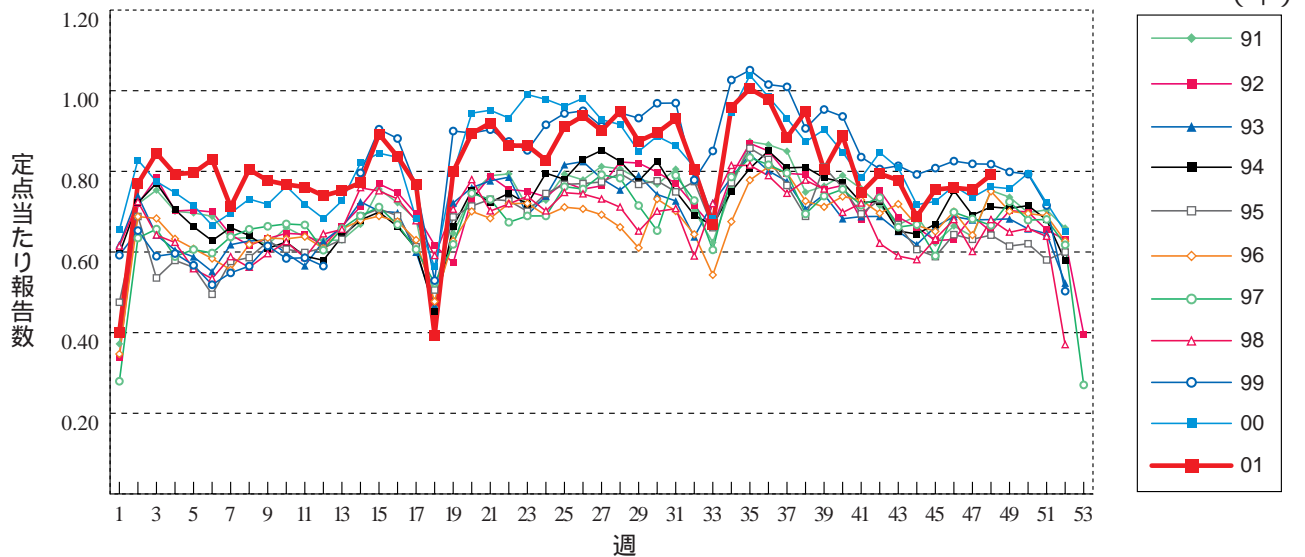
**手足口病**



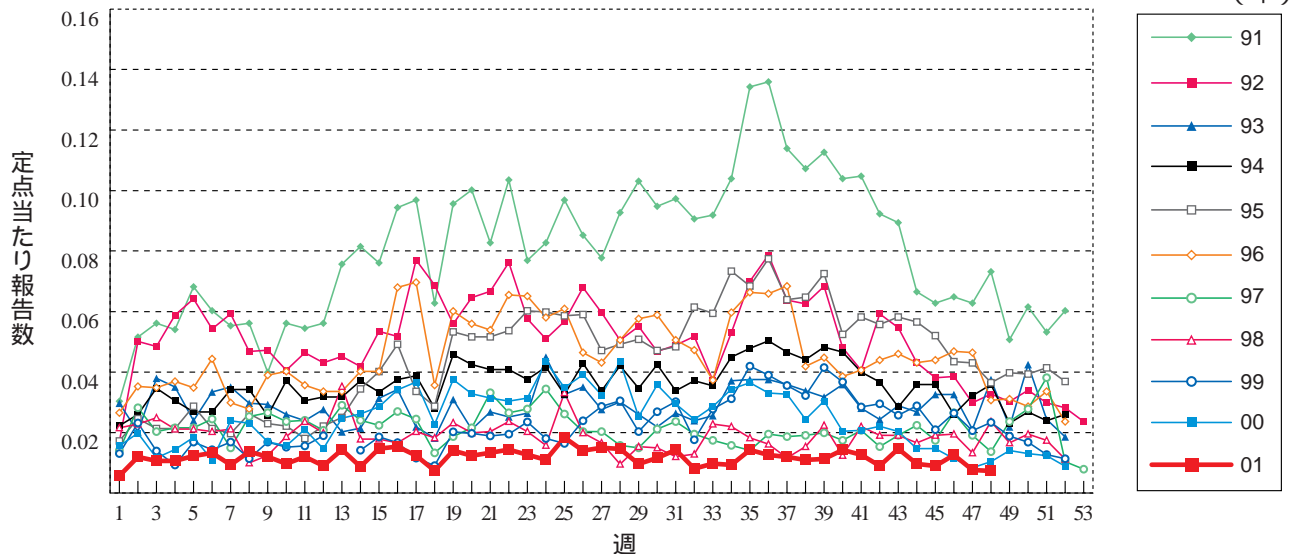
伝染性紅斑



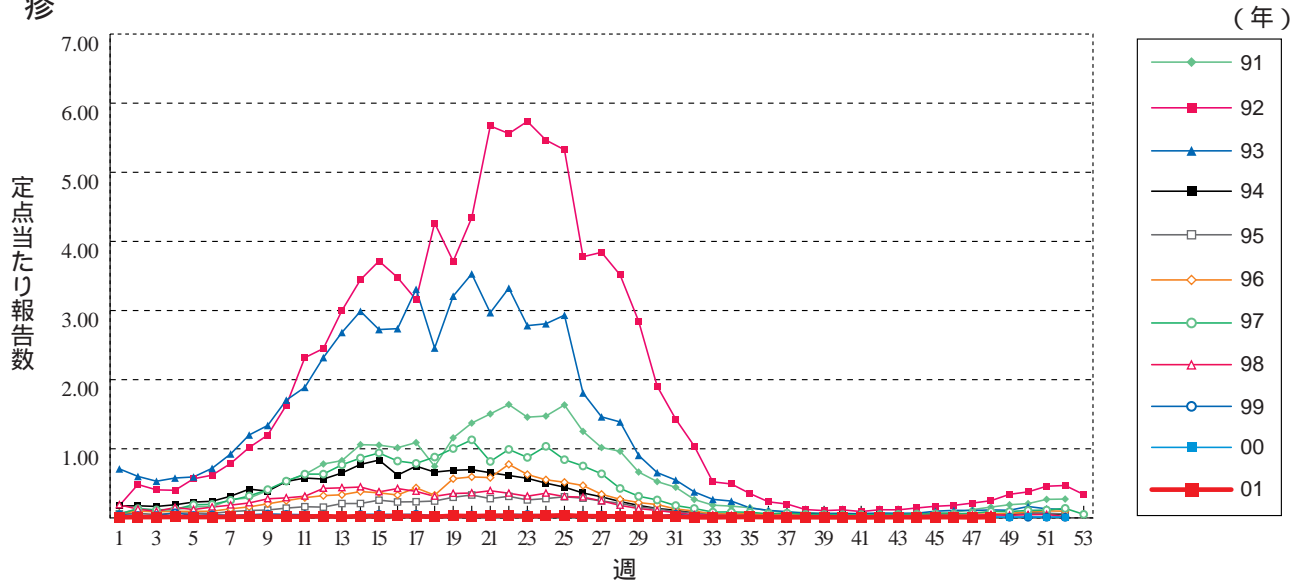
突発性発疹



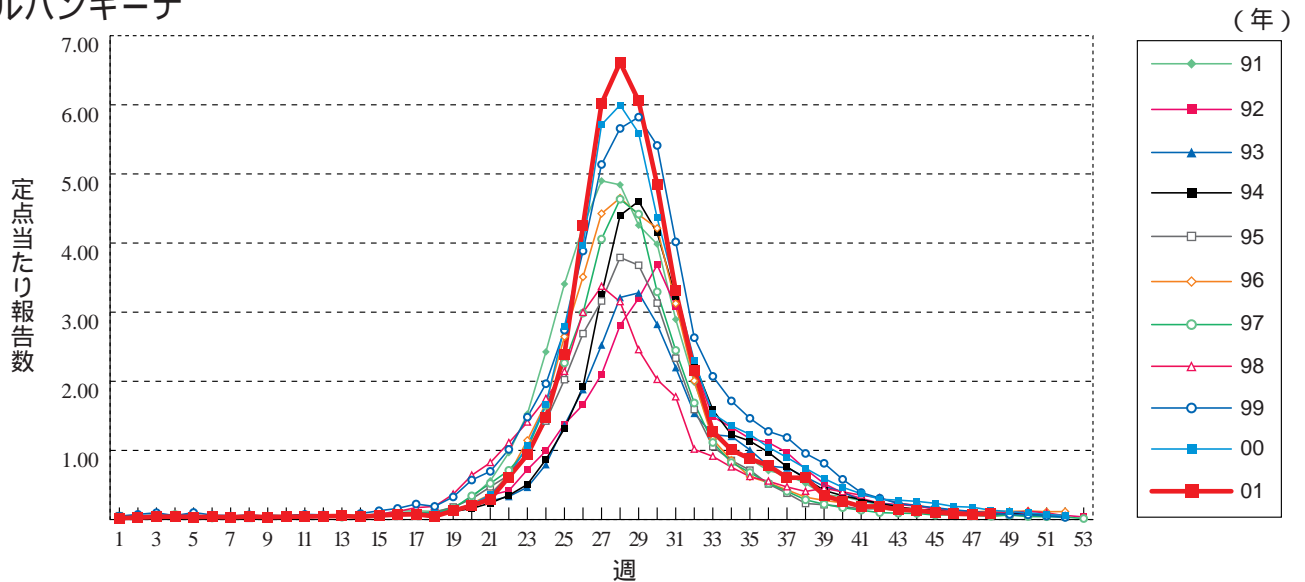
百日咳



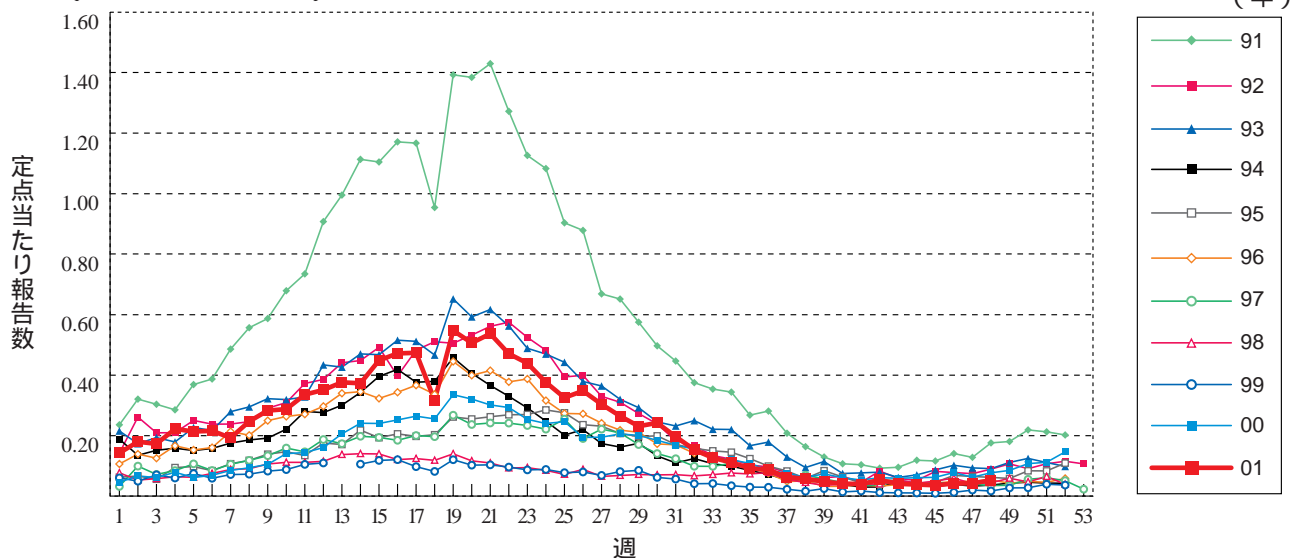
風 疹



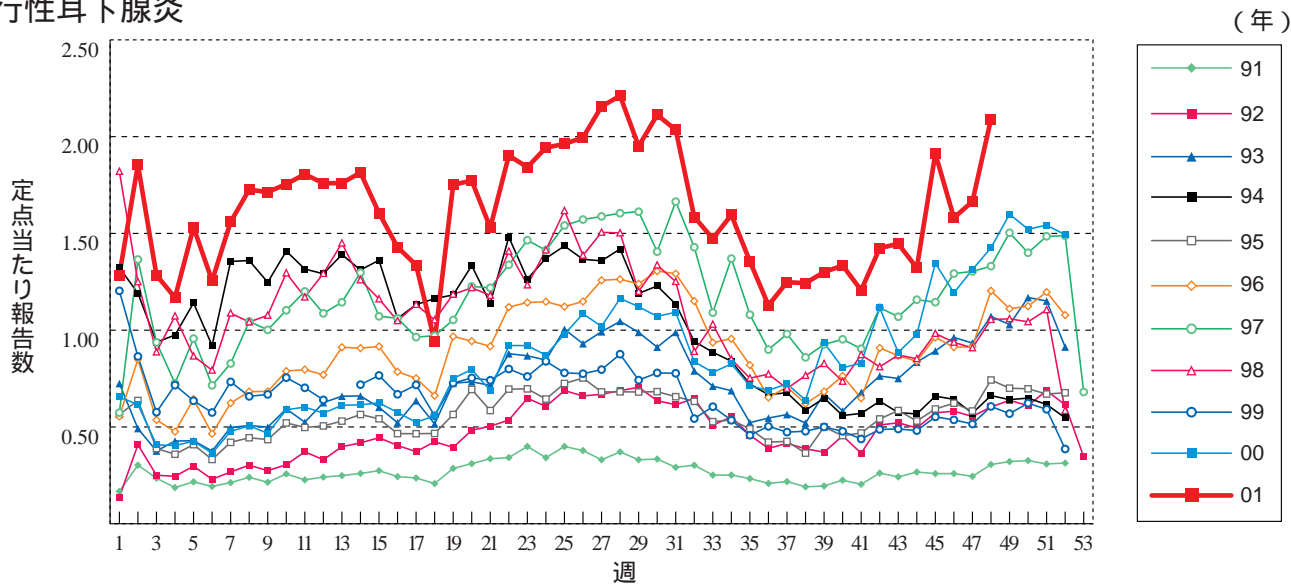
ヘルパンギーナ



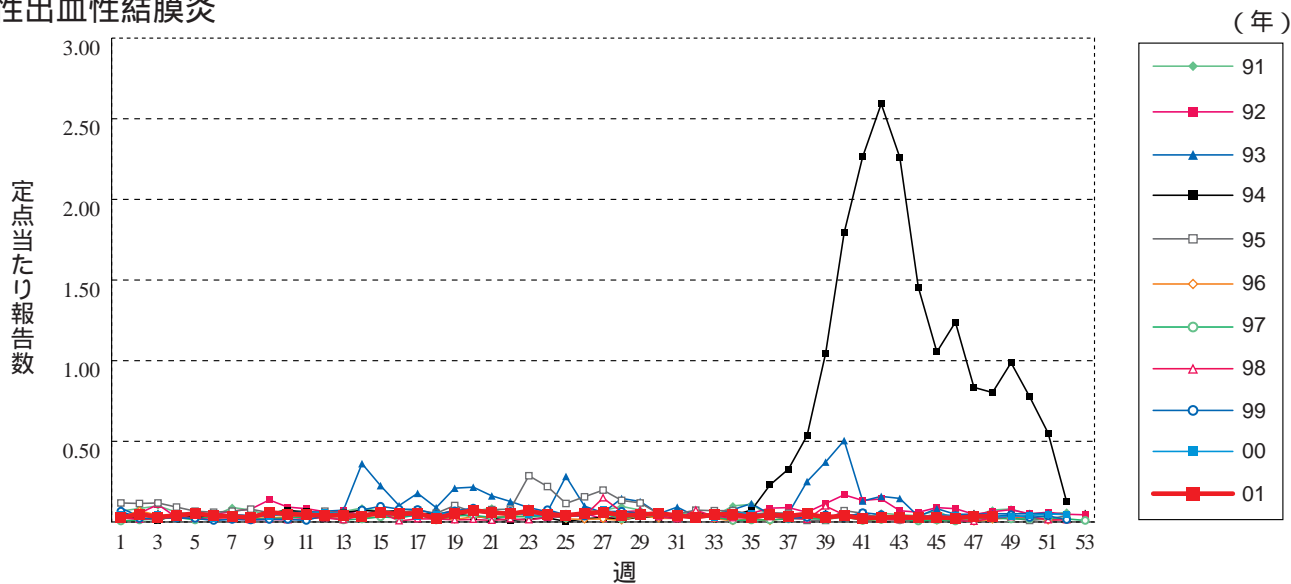
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



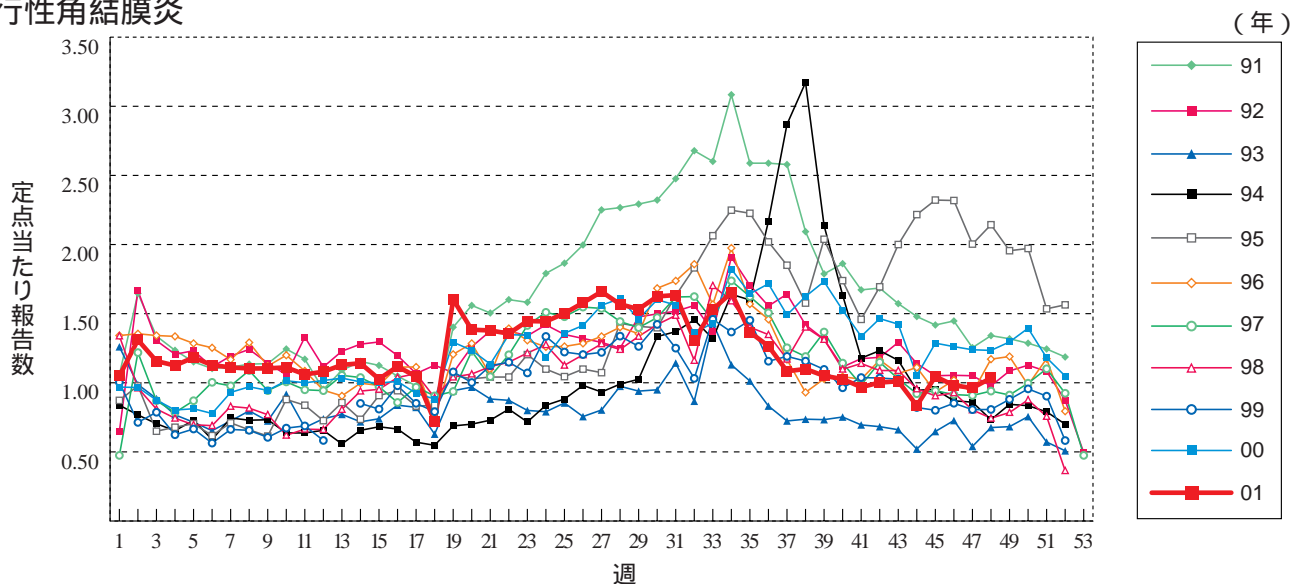
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

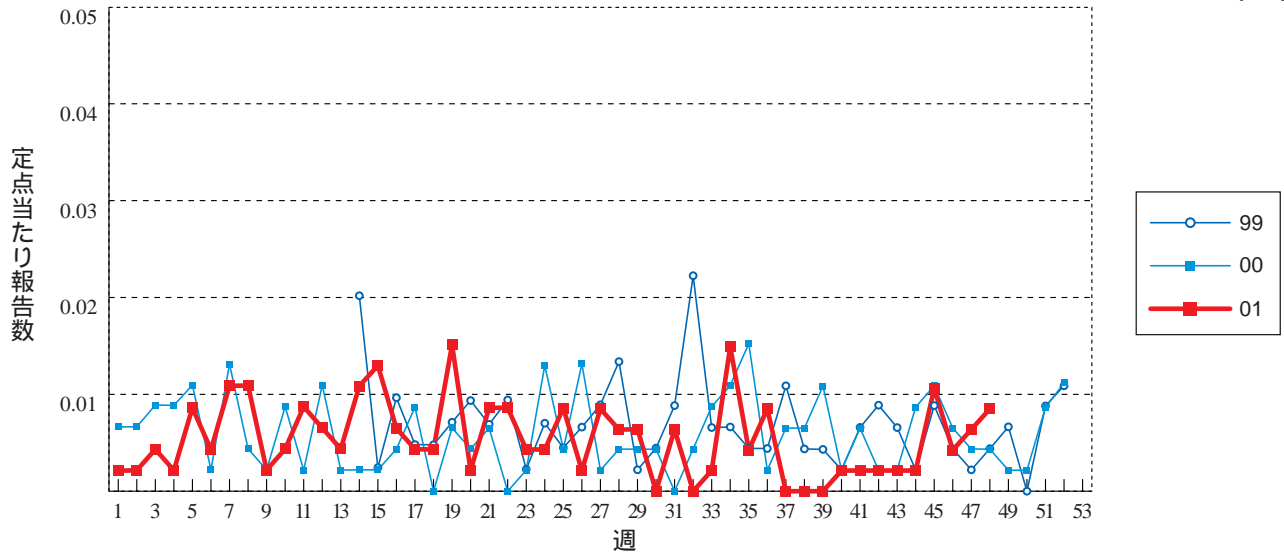


流行性角結膜炎



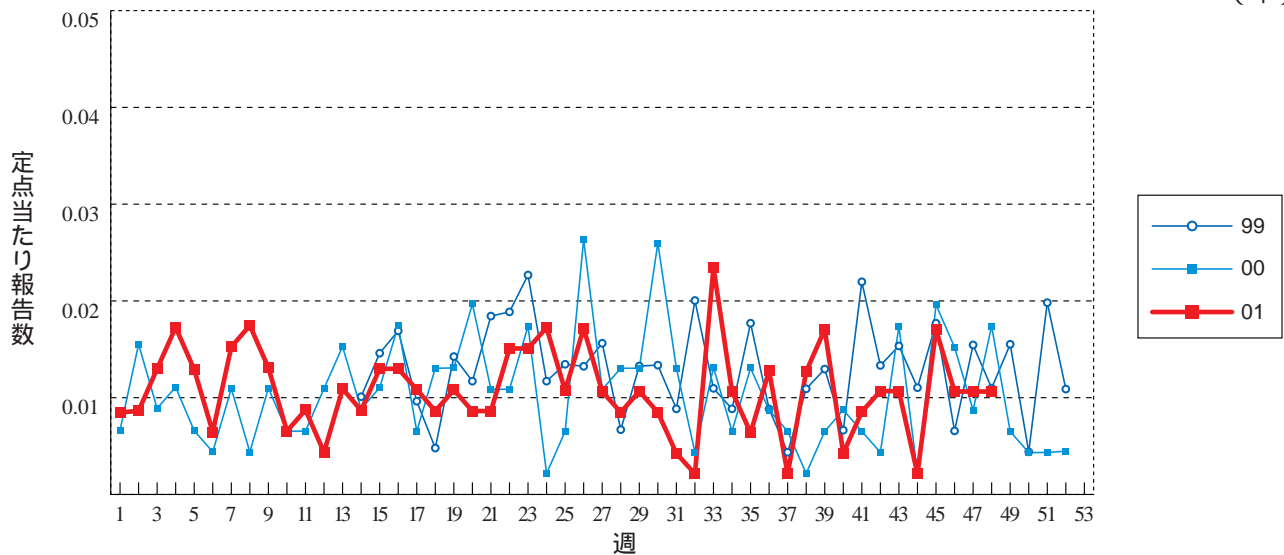
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



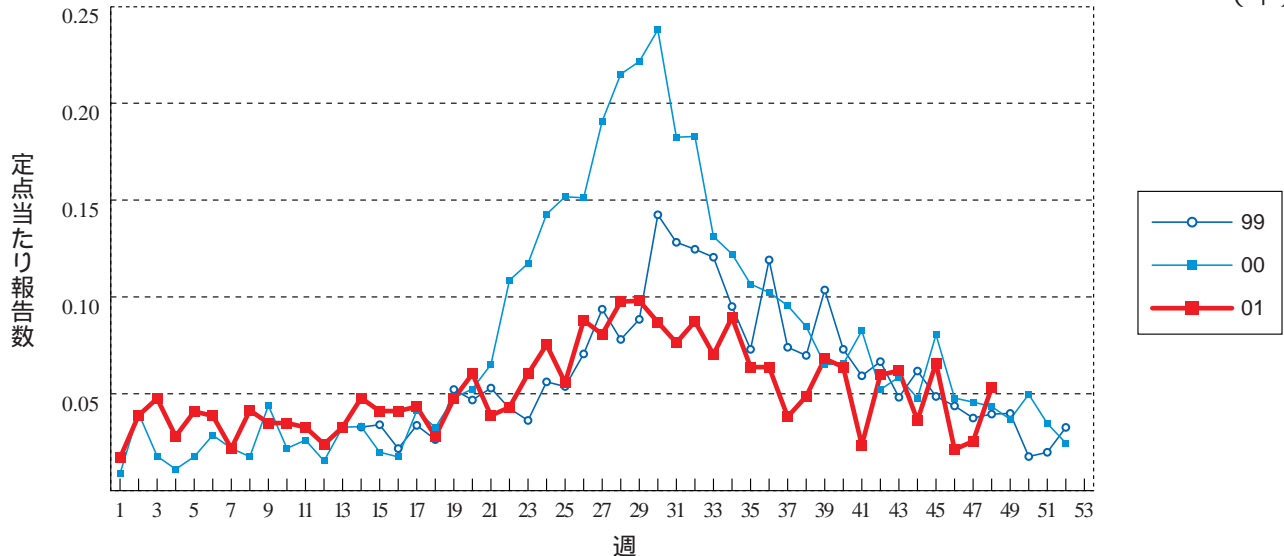
細菌性髄膜炎

(年)



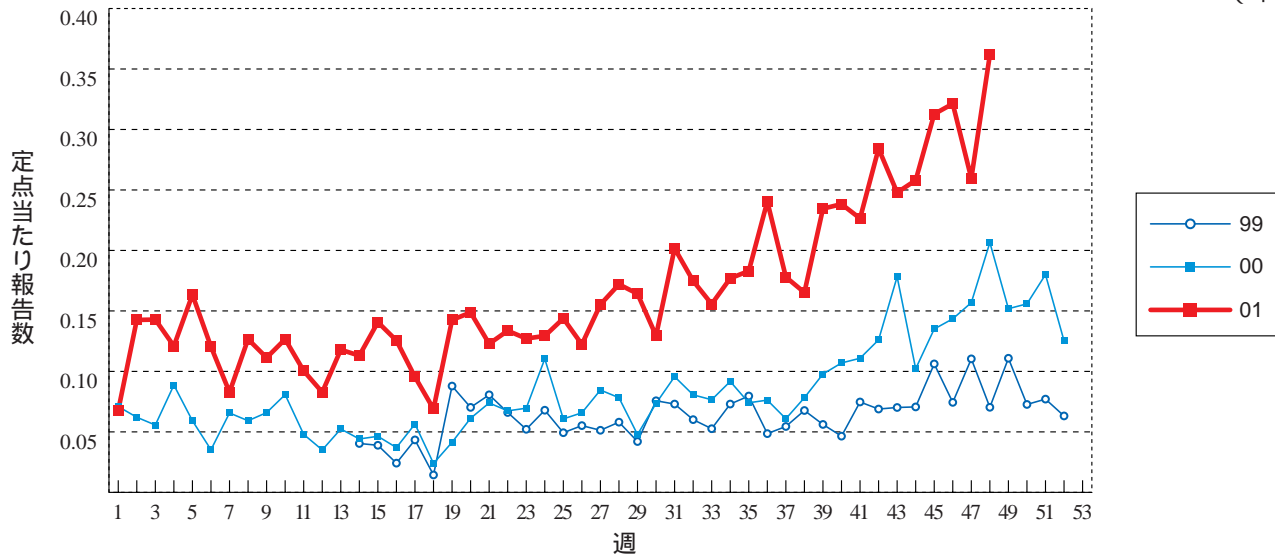
無菌性髄膜炎

(年)



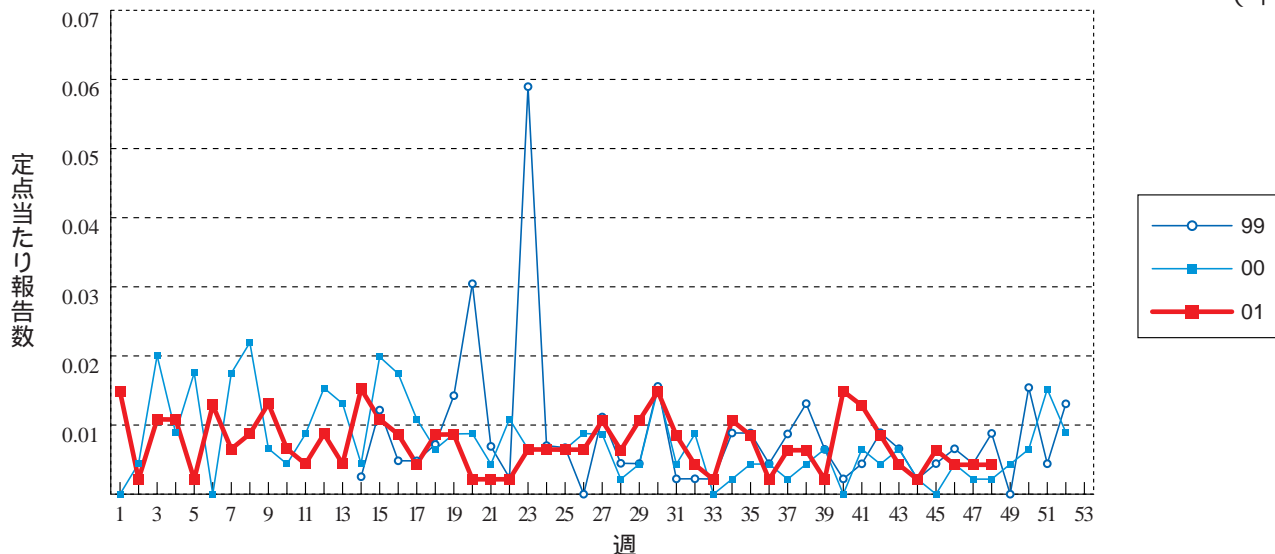
マイコプラズマ肺炎

(年)



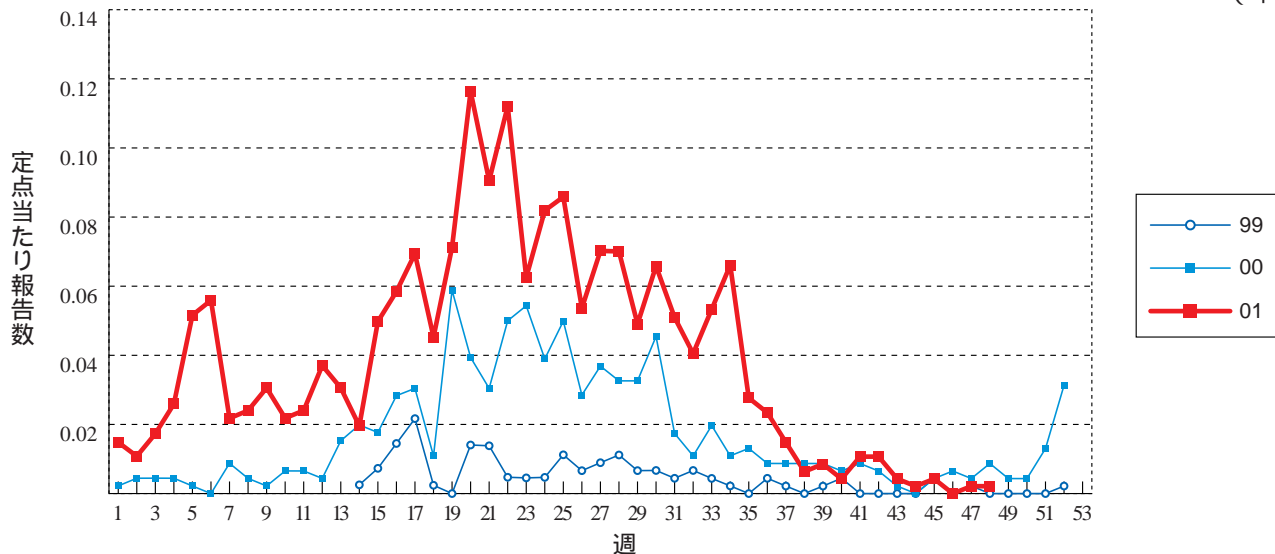
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)







### 48週のデータ

注)表中の報告数は12月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年48週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	8	581	1	61	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	19	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	35	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	119	-	17	-	14
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	39	-	3	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	35	1	6	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	9	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	49	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	29	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	27	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年48週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	9	4181	7	383	-	11	-	-	-	29	-	-	-	4	838
北海道	-	-	-	-	-	154	-	6	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	78	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	47	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	27
秋田県	-	-	-	-	-	60	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	-	86	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	-	213	1	16	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	18
千葉県	-	-	-	-	-	362	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	11
東京都	-	-	-	-	-	306	2	103	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	137
神奈川県	-	-	-	-	-	264	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
新潟県	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	63	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	60	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
長野県	-	-	-	-	-	59	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
岐阜県	-	-	-	-	-	22	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
静岡県	-	-	-	-	-	55	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	169	-	15	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	18
三重県	-	-	-	-	-	80	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	93	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
大阪府	-	-	-	-	-	341	-	56	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	89
兵庫県	-	-	-	-	1	265	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80
奈良県	-	-	-	-	-	57	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
和歌山県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	94	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	78	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
広島県	-	-	-	-	-	83	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	27
山口県	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	51	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	139	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50
佐賀県	-	-	-	-	1	89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	5	85	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
熊本県	-	-	-	-	-	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮崎県	-	-	-	-	-	37	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
鹿児島県	-	-	-	-	2	49	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
沖縄県	-	-	-	-	-	28	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年48週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	27	-	-	-	8	-	117	-	41	7	838	-	1	1	124	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	5	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	5	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	23	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	30	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	57	-	-	-	2	-	-
東京都	-	7	-	-	-	5	-	8	-	5	4	334	-	-	1	55	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	3	-	6	-	1	-	75	-	-	-	12	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	17	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	3	-	39	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	14	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	78	-	-	-	15	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	12	-	3	-	18	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	7	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	2	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年48週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	8	-	1	-	-	14	347	-	45	-	38	-	5	-	-	5	517
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
千葉県	-	1	-	-	-	-	1	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	12
東京都	1	2	-	-	-	-	-	5	-	19	-	-	-	-	-	-	-	90
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	104
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	4	-	-	-	-	1	23
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	12	-	1	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	24
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
大分県	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	1	-	1	-	-	2	17	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年48週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	71	3	42	-	-	-	-	-	-	-	-	1	98	-	14	1	76
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	5	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	3
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
栃木県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
東京都	-	3	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	3	-	-	14
神奈川県	-	4	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	4
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2
島根県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年48週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	450	0.10	249	0.08	4331	1.44	30553	10.12	6082	2.02	1549	0.51	980	0.32	2388	0.79	22	0.01
北海道	12	0.05	41	0.28	358	2.47	520	3.59	319	2.20	96	0.66	52	0.36	99	0.68	3	0.02
青森県	5	0.08	-	-	49	1.17	271	6.45	107	2.55	20	0.48	35	0.83	36	0.86	-	-
岩手県	-	-	3	0.08	29	0.78	195	5.27	105	2.84	19	0.51	10	0.27	22	0.59	-	-
宮城県	4	0.04	3	0.05	92	1.56	773	13.10	147	2.49	47	0.80	27	0.46	60	1.02	-	-
秋田県	2	0.04	-	-	66	1.89	234	6.69	81	2.31	16	0.46	48	1.37	25	0.71	1	0.03
山形県	-	-	-	-	201	6.70	263	8.77	121	4.03	7	0.23	12	0.40	24	0.80	-	-
福島県	5	0.06	-	-	60	1.25	332	6.92	96	2.00	58	1.21	27	0.56	39	0.81	1	0.02
茨城県	6	0.05	1	0.01	90	1.23	459	6.29	95	1.30	37	0.51	13	0.18	37	0.51	-	-
栃木県	3	0.04	7	0.15	54	1.17	376	8.17	107	2.33	4	0.09	24	0.52	40	0.87	-	-
群馬県	11	0.11	4	0.06	109	1.76	566	9.13	167	2.69	14	0.23	7	0.11	52	0.84	-	-
埼玉県	64	0.25	28	0.18	329	2.08	2013	12.74	316	2.00	31	0.20	39	0.25	126	0.80	-	-
千葉県	31	0.16	8	0.06	198	1.56	1039	8.18	232	1.83	38	0.30	72	0.57	99	0.78	1	0.01
東京都	11	0.06	9	0.06	95	0.67	1176	8.28	151	1.06	29	0.20	18	0.13	79	0.56	-	-
神奈川県	22	0.07	11	0.05	244	1.18	2334	11.33	336	1.63	150	0.73	57	0.28	204	0.99	1	0.00
新潟県	2	0.02	13	0.22	126	2.14	686	11.63	165	2.80	91	1.54	13	0.22	53	0.90	-	-
富山県	3	0.06	1	0.03	71	2.45	271	9.34	89	3.07	54	1.86	11	0.38	28	0.97	1	0.03
石川県	-	-	-	-	17	0.59	389	13.41	70	2.41	43	1.48	26	0.90	29	1.00	1	0.03
福井県	-	-	5	0.23	25	1.14	227	10.32	69	3.14	7	0.32	9	0.41	12	0.55	-	-
山梨県	7	0.17	-	-	23	0.92	94	3.76	47	1.88	-	-	12	0.48	6	0.24	-	-
長野県	3	0.03	6	0.11	121	2.24	730	13.52	167	3.09	47	0.87	13	0.24	33	0.61	1	0.02
岐阜県	10	0.14	-	-	65	1.38	359	7.64	104	2.21	14	0.30	16	0.34	27	0.57	1	0.02
静岡県	3	0.02	5	0.06	103	1.20	974	11.33	206	2.40	83	0.97	23	0.27	67	0.78	1	0.01
愛知県	19	0.10	10	0.05	267	1.47	1482	8.14	257	1.41	126	0.69	42	0.23	138	0.76	3	0.02
三重県	1	0.01	6	0.13	42	0.93	622	13.82	48	1.07	18	0.40	31	0.69	44	0.98	-	-
滋賀県	12	0.23	-	-	18	0.58	156	5.03	37	1.19	32	1.03	15	0.48	11	0.35	-	-
京都府	21	0.17	-	-	72	0.95	518	6.82	127	1.67	69	0.91	43	0.57	46	0.61	-	-
大阪府	38	0.13	19	0.10	182	0.95	2098	10.93	321	1.67	31	0.16	36	0.19	137	0.71	1	0.01
兵庫県	21	0.11	6	0.05	98	0.77	1927	15.05	307	2.40	14	0.11	49	0.38	92	0.72	-	-
奈良県	-	-	-	-	33	0.94	513	14.66	77	2.20	15	0.43	16	0.46	27	0.77	-	-
和歌山県	-	-	-	-	29	0.94	214	6.90	60	1.94	10	0.32	3	0.10	25	0.81	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	58	3.05	218	11.47	92	4.84	8	0.42	5	0.26	26	1.37	-	-
島根県	1	0.03	9	0.39	14	0.61	89	3.87	47	2.04	11	0.48	4	0.17	25	1.09	1	0.04
岡山県	2	0.02	1	0.02	29	0.54	343	6.35	61	1.13	96	1.78	6	0.11	28	0.52	-	-
広島県	1	0.01	22	0.29	77	1.03	569	7.59	152	2.03	50	0.67	9	0.12	52	0.69	-	-
山口県	-	-	6	0.12	96	1.96	911	18.59	117	2.39	9	0.18	29	0.59	55	1.12	-	-
徳島県	4	0.11	-	-	21	0.91	191	8.30	48	2.09	8	0.35	5	0.22	21	0.91	-	-
香川県	3	0.06	5	0.16	19	0.59	194	6.06	51	1.59	72	2.25	7	0.22	27	0.84	2	0.06
愛媛県	2	0.03	1	0.03	58	1.49	632	16.21	65	1.67	29	0.74	31	0.79	61	1.56	-	-
高知県	1	0.02	1	0.03	50	1.61	157	5.06	60	1.94	9	0.29	7	0.23	19	0.61	-	-
福岡県	22	0.12	5	0.05	274	2.61	2020	19.24	263	2.50	6	0.06	11	0.10	121	1.15	2	0.02
佐賀県	3	0.08	-	-	35	1.52	253	11.00	60	2.61	3	0.13	8	0.35	30	1.30	-	-
長崎県	1	0.02	-	-	55	1.15	246	5.13	69	1.44	2	0.04	14	0.29	27	0.56	-	-
熊本県	5	0.06	5	0.10	116	2.37	1134	23.14	88	1.80	8	0.16	17	0.35	40	0.82	1	0.02
大分県	13	0.22	-	-	51	1.42	795	22.08	108	3.00	-	-	12	0.33	53	1.47	-	-
宮崎県	28	0.47	3	0.08	72	1.95	645	17.43	139	3.76	3	0.08	5	0.14	35	0.95	-	-
鹿児島県	39	0.40	4	0.07	36	0.60	299	4.98	109	1.82	9	0.15	10	0.17	40	0.67	-	-
沖縄県	9	0.16	-	-	4	0.12	46	1.35	22	0.65	6	0.18	1	0.03	11	0.32	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年48週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	35	0.01	245	0.08	158	0.05	6308	2.09	22	0.03	659	1.03	4	0.01	5	0.01	25	0.05
北海道	2	0.01	4	0.03	45	0.31	243	1.68	-	-	44	1.52	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.07	1	0.02	24	0.57	75	1.79	-	-	18	1.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	10	0.27	52	1.41	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	12	0.20	-	-	92	1.56	1	0.09	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	1	0.03	-	-	82	2.34	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	132	4.40	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	4	0.08	-	-	146	3.04	1	0.08	19	1.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	1	0.01	5	0.07	213	2.92	1	0.06	24	1.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	-	-	101	2.20	1	0.08	25	2.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	67	1.08	-	-	45	2.81	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	15	0.09	2	0.01	213	1.35	-	-	26	0.72	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	13	0.10	12	0.09	266	2.09	1	0.03	37	1.12	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	10	0.07	-	-	153	1.08	1	0.07	7	0.50	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	16	0.08	-	-	294	1.43	3	0.07	40	0.95	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	186	3.15	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	3	0.10	-	-	179	6.17	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	0.03	294	10.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	20	0.91	-	-	1	0.33	3	0.50	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	46	1.84	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	2	0.04	-	-	406	7.52	1	0.10	17	1.70	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	5	0.11	131	2.79	1	0.09	10	0.91	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	2	0.02	10	0.12	186	2.16	-	-	14	0.70	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	2	0.01	8	0.04	16	0.09	263	1.45	-	-	20	0.57	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	93	2.07	-	-	5	0.42	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	49	1.58	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	2	0.03	-	-	124	1.63	-	-	6	0.33	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	7	0.04	19	0.10	5	0.03	256	1.33	1	0.02	16	0.31	1	0.08	-	-	1	0.08
兵庫県	1	0.01	5	0.04	-	-	160	1.25	-	-	26	0.74	-	-	-	-	2	0.14
奈良県	1	0.03	3	0.09	-	-	97	2.77	2	0.22	6	0.67	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	1	0.03	5	0.16	70	2.26	-	-	5	1.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	17	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	-	-	18	0.78	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	112	2.07	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	2	0.03	1	0.01	120	1.60	1	0.05	24	1.20	-	-	2	0.10	4	0.19
山口県	-	-	19	0.39	-	-	41	0.84	1	0.11	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	70	3.04	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	-	-	52	1.63	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	7	0.18	-	-	162	4.15	-	-	11	1.57	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	5	0.16	-	-	10	0.32	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	28	0.27	3	0.03	248	2.36	1	0.04	53	2.21	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	19	0.83	-	-	80	3.48	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	5	0.10	7	0.15	58	1.21	4	0.40	16	1.60	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	7	0.14	1	0.02	71	1.45	-	-	16	1.78	-	-	2	0.13	2	0.13
大分県	-	-	8	0.22	1	0.03	53	1.47	-	-	1	0.20	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	-	-	1	0.03	128	3.46	-	-	20	5.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.05	2	0.03	2	0.03	194	3.23	-	-	15	2.50	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	2	0.06	1	0.03	185	5.44	-	-	10	1.00	-	-	-	-	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年48週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	170	0.36	2	0.00	1	0.00
北海道	3	0.13	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	11	0.55	-	-	-	-
宮城県	12	1.00	1	0.08	-	-
秋田県	14	2.00	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.33	-	-	-	-
千葉県	6	0.46	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	-	-
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	7	0.54	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	8	0.80	-	-	1	0.10
長野県	1	0.09	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.38	-	-	-	-
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	4	0.44	-	-	-	-
滋賀県	11	1.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	7	0.58	-	-	-	-
兵庫県	3	0.21	-	-	-	-
奈良県	5	0.83	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	6	1.20	-	-	-	-
広島県	12	0.57	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.67	-	-	-	-
高知県	8	1.00	-	-	-	-
福岡県	9	0.60	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	6	0.40	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第48号 平成13年12月17日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。